

未来づくりと環境

今年こそ世界がコロナを超えて、世界中の人との触れ合いが戻ることを願っています。

大学においては教育・研究や大学運営等でリモートの活用が常態化し、人と人との接触が制限されたことに由来する大きな損失はあるものの、個人的には自由度が増したり移動時間が節約されたり等のメリットも感じつつ、コロナ前のレベルを基準値に据えた様々な飛躍に挑み始めています。このような感染恐怖による活動凍結から with コロナを許容する凍結解除への移行に、新たな状況に対する人間の適応力の高さを痛感しているところです。

名古屋工業大学は、工学を常に客観的に見つめる「心で工学」を行動理念に据え、サイエンスから技術の糸を、社会・世界の人々から心の糸を紡ぎ、これらが織り成すイノベーション創出等を通じて、心の豊かさを実感できる社会の実現に貢献したいと考えています。

環境に配慮した事業所として、本学は名古屋市よりエコ事業所の認定を、2008年以降現在まで継続して受けています。これをベースラインとして、「心で工学」を育む理想の培地の構築を目指し、キャンパスのさらなる緑化や「アートフルキャンパス構想」の実現など、未来づくりのプラットフォームに一層の磨きをかけてまいります。

加えて、本学の構成員一人一人が環境に対する配慮を意識し、産業界や地域社会とともに継続的に環境問題に取り組んでいくことも極めて重要です。キャンパス環境の現状を正しく認識し、現状の問題点や課題を適切に把握・分析して改善に繋ぐため、ここに本年度の環境報告書を取りまとめ、現時点におけるキャンパスの状況を客観的に見つめてみました。

2022年9月

国立大学法人名古屋工業大学長

環境最高責任者

木下隆利



※アートフルキャンパス構想とは

ARTFUL CAMPUS

名古屋工業大学御器所キャンパスは産業基盤創出・産業育成のプラットフォームとしての役割を果たしています。
愛知県立芸術大学の協力のもと、高度な工学の基盤であるキャンパスへアートによる風を取り入れます。
芸術に親むることによって、「心の豊かさ」を育み、自己の客観視、社会との対話、工学を俯瞰するための時間とキャンパス空間を構築します。

<https://artfulcampus.com/>